

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆20代が消費けん引役、目立つ海外旅行 賃上げ効果も

・総務省が発表した2024年11月の家計調査では実質の消費支出が4カ月連続のマイナス。消費は全般的には停滞しているものの、若者層は海外旅行や家電の購入に積極的。若年層で賃上げが先行している恩恵もあり、消費のけん引役に。消費支出は実質で前年同月比0.4%減。名目では3.0%増、25～34歳が前年同月比3.8%増。

◆25年の訪日客、初の4000万人台へ JTB推計2年連続最高

・JTBは2025年の年間旅行動向の見通しを発表。インバウンド(訪日外国人)は24年を9%上回り、初めて4000万人台になる見込み。1981年の調査開始以来、2年連続で過去最高を更新する。円安や国際航空便の回復に加え、4月に開幕する25年国際博覧会(大阪・関西万博)も追い風になりそう。

◆24年「フィッシング」最多 偽サイト誘導148万件

・偽サイトに誘導してクレジットカード情報を盗む「フィッシング」を狙い、金融機関などを装って送り付けられたメールやショートメッセージサービス(SMS)の報告件数が2024年、過去最多となることが、民間監視団体のフィッシング対策協議会のまとめで分かった。1月から11月までの累計件数は148万5746件だった。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆木造オフィス普及へ耐久性評価 国交省、長期融資後押し

・国土交通省は2025年度に木造のオフィスや店舗の耐久性を第三者が評価する新制度を導入。木造の建造物の丈夫さを左右する防水処理を中心に確認し、基準を満たせば、耐用年数が現状の2倍超の50年以上だと認定。金融機関からの融資を受けやすくして、普及拡大につなげる。

◆建設業の給与総額4.3%増 全産業平均上回る—11月勤労統計調査

・厚生労働省が公表した2024年11月分の「毎月勤労統計調査」(速報)結果によると、建設業(事業所規模5人以上)の月間現金給与総額は40万5446円、前年と比べて4.3%の上昇。このうち所定内給与は34万3649円(同3.4%増)、所定外給与は2万6014円(同3.4%減)、特別に支払われた給与3万5783円(同21.2%増)。

◆世界気温上昇1.6度 24年、単年初の温暖化抑制目標超え

・欧州連合(EU)の気象情報機関「コペルニクス気候変動サービス」は2024年の世界の平均気温が産業革命前に比べて1.6度高くなり、2年連続で史上最も暑い年だったと発表。気候変動対策の国際枠組み「パリ協定」で掲げる気温上昇幅の抑制目標である1.5度を単年で超えるのは初めて。地球温暖化の深刻さが増している。

《 注目商品 》

■トクラス、新時代の水まわり「Noare(ノーレ)」

・浮遊感のあるデザインのフロートタイプや、椅子に座りゆったりとした時間を過ごせる片側オープンプランなど。「マルチユースベッセル」ボウルを採用。小物の仮置き・飾り棚に使えるデザインシェルフや扉と同色に揃えることもでき、まとまり感のあるスタイルを実現。



■ウッドワン、「無垢フローリング ピノアースエコ152幅」

・ニュージーランドで計画的に植林・育林した「ニュージーパイン®」を使用した木質フローリングで、表面仕上げに浮造り加工を施したまっすぐな柾目が特徴。原木の製材時に出てしまう幅の狭い木材を活かした幅広タイプのフローリング。柾目のため一枚板のような仕上がり。



■アイカ工業、リブ化粧材「アイカアール」「デコネル」

・「アイカアール」は、カーブしたカウンター側面などの曲面にも施工可能な凹凸形状の化粧材。ベーシックなスクエア形状1種類、天然木やモルタルの質感を表現した8柄を追加。「デコネル」は3×6サイズの大板サイズの不燃リブパネル。ゆったりとしたダイナミックなデザイン。

